

会 議 録

会議名		令和6年度 第7回 小金井市学童保育所運営協議会
事務局 (担当課)		児童青少年課
開催日時		令和6年11月26日(火) 19時00分～20時00分
開催場所		第二庁舎8階801会議室及び一部オンライン会議
出席者	委員	平岡委員長、高藤副委員長、堤委員、中山委員、鈴木委員、森永委員、青木委員、太田委員、戸田委員、神山委員、松山委員、矢野委員
	事務局	野村学童保育係長
欠席者		伊東委員
会議次第		1 開会 2 議題 (1) 学保連運動会実施状況および実施後の対応について (2) みどり・さわらび第3学童保育所の現状について (3) その他 3 閉会
配布資料		
議事		1 開会 委員長から開会の挨拶、議題の紹介 2 議題 (1) 学保連運動会実施状況および実施後の対応について (学) 運動会開催にあたり市、教育委員会の協力が無事に終了することができた。子どもたちも活発に楽しんでくれた。運動部が中心に集めたアンケートで、今回参加者中回答者の96.9%が参加してよかったとの声である。 参加者は、2,300名、この運動会自体は非常に開催してよかった。 その後、苦情が来ている状況がある。 小金井市立第一中学校の場所は昨年度から場所をあたり今回、借りることができ、ありがたいと感じている。駐輪場の設置などを考えると、市内で運動会を開催できるような場所は非常に限られ、ここしかないような状況である。学保連の希望としては、この場所を継続して使用したいと考えている。 ただ今回、苦情が来てしまい、継続して借りることができるか危惧している。来年以降の運営をどのように進めていくか、今回、結論を得る必要はないとしても、方針のすり合わせをしたいという希望である。 (市) 運動会役員の方が責任を負い、大変な思いをしていないかという心配のお声があった。同時に参加者2,000名を超える規模の実施について

	運営体制がとれるのかという、心配もあるかもしれない。 公共施設を利用し、通常とは異なる利用の方法で使うにあたり、その施設の方に、違和感を与えない使い方が必要である。通常の施設で、日常のイベントをやるときの状況に近い開催状況だと、近隣の方とかも受け入れやすいのではないか。今後は、音量等どう配慮しているのか、施設の方に助言を頂き、進められると、スムーズにいくのではないか。 (学) 個人の感覚ではあるが、会場の仮設トイレ付近では、1回目に通過の際は音量が震えるぐらい大きさがだったが2度目に通過した際は静かであったと認識している。音量の大きさについては、確かに大きかったため通常利用における音量程度に済ませた上で、継続利用出来たらと考える。最終報告は別途行う予定だが、音量を下げる、ビラ配りの範囲拡大など検討中である。通常利用については、改善の余地はあると考えている。通常時と今回利用のギャップについては人数が多いことから、音量を下げる必要は認識しながらも、聞こえるのに必要な音量はあると懸念はある。また通常利用での準備と違い当日の準備という制約があるため、通常利用と全く同じ環境にすることは難しいと考えている。 (市) 地域との友好拡大と理解を深めるイベントになって欲しいが、どこの基準に合わせるのか、やり方や手法は工夫する余地がある。 借りることができるかどうかの判断は、施設側にあるので調整が必要である。 (学) もう1つ確認したいのはお借りできるかどうかという判断の主体がどこにあるのか、施設をお借りするときに基本的交渉が、例えば学童である場合、学校に相談してもいいかというところを知りたい。 (市) 例えば、学校をお借りする際は、行政の場合は、まずは教育委員会に確認をとる。業務権限者は学校長である。 注意していただきたいのは、外部の施設利用については、目的外利用となり、法律的には「禁止の解除」となる。施設管理者の権限で実施に問題がないというときにそれが解除となる。貸出さない方が原則になってしまう。目的外利用に際し、問題にならないような対策を十分とることが必要となる。 (学) 技術的、ハードウェア的なことは、一定の対応策をしていく。音量について苦情の書面も見えていないのでわからない。 (市) 今回は、施設としては通常の活動の範囲以上で、苦情を受けてしまっ
--	---

た。

今回は、後援名義を教育委員会と、子ども家庭部の方で許可をした。近隣にお住まいの方から書面で苦情をいただいたが、その主旨としては、決してただうるさいとか、参加した子どもに対して苦情を言いたいわけではないとのこと。大人の声がこれまでにない大きさであったというのを感じたというところで、書かれている。また、ご自身の苦情で、イベントを中止にしてということは望まない。音量と、決まった時間に終わるなど、そういったところで、子どもたちも楽しめるよう、工夫できないか、という内容であった。

(学)

苦情の書面を学保連が見ることは可能か

(市)

公文書扱いとなるので情報公開請求が必要となる。

(2) みどり・さわらび第3学童保育所の現状について

(市)

前回の運営協議会以降の動きを報告する。令和6年11月19日の厚生文教委員会において、学童保育所の大規模化対応について行政報告した。

みどり第三学童保育所の運営場所を緑中学校の1階の会議室にて運営する。借用時期としては令和6年11月18日月曜日から約2年間を予定である。細かいところはみどり学童の方から登所、降所についての方法や、実際の降所ルートなどは別途みどり学童の方からもメールをさせていただいている。

緑中学校の会議室の借用にあたって会議室への荷物の移動は子ども家庭部の方から数名出て、片付けなどをさせていただいた。

15日金曜日に作業の方は学校の先生も移動のご協力いただいて、早く終わった。18日からはみどり第3学童保育所の方は、所外保育といいまして振替休業日の影響もあって朝8時から、保育が始まったが、今のところ、副校長先生に伺った現状は特段、ご意見等はなく運営ができているとの話がある。

例えば体育の授業とか部活など、できるだけ危険がないよう、見守る人を配置するなど行なっている。三学期には中学校の方で避難訓練があるので一緒に防災訓練と、避難訓練などを行えるか学校と調整中である。第三学童は、学区からいうと西の方、遠いという意見がある。別途受託者と協議したが、今クラス分けを変えたと、友達関係等混乱させてしまうことなど考慮し、3月まではこのままとする。

(市)

さわらび第三学童開設について報告する。こちらは市立小金井第四小学校に協力いただいており、学校内に場所の確保を予定している。

(市)

プロポーザルの進捗についてである。改めてだが、あかね学童保育所とみどり学童保育所については引き続き、社会福祉法人雲柱社が契約事業者となっている。まえはら学童保育所は株式会社日本保育サービスが今回プロポーザルの結果、選定となった。

プロポーザルの契約については11月中を目途に管財課の方に契約締結を依頼している。説明会の際、引き継ぎをしっかりとやって欲しいと伝えている。また、現在まえはら学童保育所で勤務の方が、新しい法人のもとで働きたいという場合には、採用も対応するとお返事をいただいた事業者なので、一定説明要望も踏まえ選考した。

12月から引き継ぎが始まる。直営の指導員の力を借りながらやっていく予定である。

民設民営については学校法人村田学園に決定をした。場所は本町1丁目の日興パレスというちょうど前原坂上となる。連雀通りの交差するところである。定員は15名という形で一小地域内となっており、現在、児童の募集等を行っており、これから決定という流れになる。

(学)

みどり第三学童について、子どもからの意見としては、変わらずに過ごせているという。中学校の方にもとても理解していただき協力していただいているようで、感謝している。始まったばかりなので、問題点などは子どもから特に今聞いていない、継続して利用をお願いする。

(市)

放課後の時間は、学童のために使えるが、午前中は生徒のために、試験会場としての利用などが想定される。

(学)

まえはら学童について、次の受託事業者である日本保育サービスは現時点で、学童の職員プラス、継続で働きたい希望があれば採用というのがあるのか。

(市)

社の規則の通常の手続方法に沿って希望を受け付けて面接し、選考の上行うとのことである。小金井の学童保育もよくご存じで、子どもたちの自主性を尊重するなど、理解した上で学童保育をやっていききたいという意気込みもいただいている。

(学)

来年度も職員がどの程度残るかにもよるが、3月の末から4月1日になりガラッとこう変わるというのもあるか。

(市)

前回、まえはら学童は、10年ほど前に直営から委託に変わった時は、3月までの間に、新しい事業者の職員が、何回となく保育の中にも一緒に入ったりしながら、事務的なもの以外に、子どもの様子や学童の生活の仕

方も、仕事をしていく中で引き継ぎをしている。3月31日と4月1日で職員は変わるが、ある程度新しい職員も、子どもの名前を覚えて、様子だとか、伝えられる家庭の状況とかを伝えながら、4月からの保育に支障のないように、情報共有を3ヶ月の間にやっていけると思う。知った職員が数人いるという状況でスタートし、心配していたほど混乱が起きるということは前回もなかった。民間の引き継ぎが中心になるので、当市の指導員がサポートするということになる。丁寧にやっていけるようにしたい。

(3) その他

利用者アンケートについて

(学)

アンケートについての要望として、9学童それぞれ父母会の存在や活動について、民設民営学童でのニーズがあるかもしれないので、必要と思うが、「地域の父母会と一緒に活動したいですか」等を入れていただき、学童のイベントのところだけ参加してください、みたいなこともあわせてアンケートをしたい。あと1つ、民設民営学童を1年やってみた中で課題があったかどうか検証をしていただき、あくまでも、その中の1つの要素に入れていただけたらと思う。

(市)

これまでのアンケートは、もともと市の毎年アンケートのフォーマットをそのままお渡しして実施している。直近で実施するとなると、今のリクエストのタイミングにより、自由記述の範囲となるかもしれない。

次回日程 令和6年11月26日（火）19時から第二庁舎801会議室開催方法に関しては副委員長と調整。

3 閉会

令和6年度第7回小金井市学童保育運営協議会を閉会する。